

緑葉だより

No. 8 3

平成 31 年 2 月 2 日

本日の時間割

(司会 勝幸さん)

12 時開場

13 時 00 分

席題の選者・文台決定

05 分

互選の投票・集計

14 時 35 分

加藤ゆみ子先生の講話

30 分

席題発表 (20 分間吟)

55 分

出句締切 (3 句)

15 時 00 分

休憩

16 時 15 分

互選 (進行役 修さん)

20 分

席題披講

30 分

閉会

16 時 40 分

幹事会 (1 時間)

緑葉の 2 月と 3 月の例会には

加藤ゆみ子先生を、ゲストにお招きします。

(川柳研究社所属 横須賀市在住)

1.

1月の会員活躍状況

おめでとうございます！

◇ 東葛川柳会新春句会 (1月26日)

宿題「専ら」

上村 脩選

ユーモア賞

孫居ぬ間夫居ぬ間の日向ぼこ

由紀子

宿題「関係」

米島 暁子選

特選 (人)

年収を超えてもやはり父は父

敦 世

2.

1月の緑葉の勉強会

川柳会・江風との合同勉強会

◇ 江畑哲男先生の講座 文芸的表現を追い求めて

● 文芸の表現と伝達表現は異なる

伝達は正確にわかりやすく伝えるが、文芸表現は気持ちや全部言わない。(余韻、余情)
詳述しない。説明になる。読者に想像させる

月末のただ其れだけの金曜日 (篠塚健)

プレミアムフライデーを言わず、「月末の金曜日」だけ
プレ金は役に立ちませんと言うと説明になる
詳しく言わないで気付けてほしい
プレ金はオレには関係ないと詠んだ文芸の表現

● 作句の技術 推敲のレベルを上げる

図書館で思索をすれば眠り深し ↓ 下六リズムを整える
↓ 図書館の思索眠りも深くなる
いったん切る、切るテクニックを身に付けると成長する

老いた今食欲だけはおとろえず ↓ 言葉を吟味する
↓ 老いてなお食欲だけは衰えず
老いた今は単なる説明。「なお」で川柳が生きてくる

紅葉狩り遠出しないでキャンパスで
↓ キャンパスで間に合いそうな紅葉狩り
説明句も、語順を入れ替えるとよくなる

A B C ↓ C B A B C A

◇ 互選結果 宿題「自由吟」 得票5以上(全35句)

特選2句と秀句5句合計7句選ぶ (特選は2票扱い)

21票	一周忌過ぎて手相の変わる母	勝幸
19票	何よりの幸この国に生をうけ	サチヨ
17票	断捨離へ部屋の空気が澄んでくる	千代子
16票	寝正月体重計に見破られ	貞治
16票	姿見に君サイコーと書いて置く	由紀子
14票	コレカラを模索してみる年初め	陽子
12票	老いに慣れ笑いとばして生きる知恵	由利子(江)
12票	おじさんはだんだんとおばさんになる	敦世

- 12票 お日様が押し入れ覗く冬が来た とまと
 11票 うざいナビ横で寝ている妻に似て 鷹磨(江)
 10票 救急車へ搬送あとの深呼吸 みつ子(江)
 10票 コンテスト呼ばれないほど胸躍る 靖門(江)
 9票 孫生まれ自分の年に二十歳足す 智恵子
 9票 金婚式寡婦が独りで祝い膳 修
 8票 消費税上げれば上がる不支持率 次雄
 8票 奥の手も思いつけずに手酌酒 洋子(江)
 8票 チョちゃんに怒鳴れそうな年も暮れ 嘉子(江)
 7票 無気力がやけに似合っていたわられ 知恵
 7票 三等分聞こえは良いが誰か泣く 隆司(江)
 7票 マーキュリー時代が彼の後を行く 貞子
 6票 終活の賀状書き終えほつとする 芳子
 6票 百歳へ男女で笑う趣味の会 正夫(江)
 6票 平成の新嘗祭は無事に終え 格
 6票 十年日記更新決意七十五 茂雄
 5票 赤白にこだわり過ぎて千鳥足 琴美
 5票 新元号命に聴いて買う日記 幸子

哲男先生からの評

- ◎ 断捨離へ部屋の空気が澄んでくる 千代子
 ○ 寝正月体重計に見破られ 貞治
 ○ 何よりの幸この国に生をうけ サチヨ

由宇呆さんからの評

- ◎ 寝正月体重計に見破られ 貞治
 ◎ 三等分聞こえは良いが誰か泣く 隆司(江)
 ○ 老いに慣れ笑いとばして生きる知恵 由利子(江)
 ○ お日様が押し入れ覗く冬が来た とまと
 ○ いろいろとご馳走が来た米寿の日 とし子
 ○ 断捨離へ部屋の空気が澄んでくる 千代子
 ○ 十年日記更新決意七十五 茂雄

3.

緑葉3月例会

3月2日(土) 柏パレット3階「D」

10時開会

① 席題「20分間吟」3句 二人選(選者と課題 当日発表)

- ② 「互選」を行う。課題「自由吟」 1句つくって
投句先は、千代子さんまで 2/20 締切厳守

- ③ 加藤ゆみ子先生の講座（13時30分〜）

4. 幹事会の決議報告

- ① 毎年4月例会では吟行会を、今年は中止。

通常通りの勉強会、哲男先生の講座。

- ② 15周年記念大会（大会実行委員長 貞治さん）

・ 5月7〜8日 外房白子へ一泊のバス旅行

句会は二人選で、全員が選者体験をする

・ 句文集作成 編集委員会発足（編集長 格さん）

・ 10月10日（木） 記念講演会&句会

会場 アミュゼ柏プラザ

5.

東葛川柳会2月句会

2月23日（土） 12時30分開場

会場は、柏市中央公民館5F講堂

宿題 「セルフ」「泣き所」「皿」各題3句

「告白」（三句連記） 会費1000円

6.

「ひろどき川柳」コーナー（選者江畑哲男先生）

NHK千葉放送局 ひろどき情報ちばFM（11時〜12時）

2月の題は、「寒い」 締切は2月4日（月）必着

入選作発表 放送日2月14日（木）

会員近況

（日常に思うことなど綴ってご協力を。来月はあなたも）

▼ 野澤 修さんから 「鶉の岬海岸のウミウ」

「鵜の目鷹の目」の鵜とは、ウ科の鳥で全身緑がかった黒色、体長30cm余、大きい体に長い首と鋭いくちばしが特徴的です。視力がとっても良く、さらに水中を泳ぐスピードも速くて、獲物を丸呑みにする習性があり、これが鵜飼に適しているそうです。

唯一、この鵜、ウミウを捕えて日本の11カ所の鵜飼の観光地に送り込んでいるのが、茨城県日立市北東部にある伊師浜海岸で別称、鵜の岬に近いことから鵜の岬海岸とも呼ばれます（わが緑葉の伊師由起子さんゆかりの地です）。

余談ですが、日本でトップクラスの宿泊率を誇る、県立国民宿舎

「鵜の岬」に12月中旬、夫婦で宿泊してきました。この国民宿舎はなかなか予約が取れないので有名です、この同じ12月に緑葉のメンバーの3人が夫婦で宿泊したのです。吉田格夫妻、棚田貞治夫妻でした。偶然です！

この伊師浜海岸は日本白砂青松百選の一つで、宿舎上層階の野天風呂や部屋から見る朝夕の長い海岸線は絶景です。お泊りなら早く到着、公園の散策と夕景、そして朝は早起きして日の出を胆嚢して下さい。5
どうしてここに捕獲場があるのかというと、ちょうどここ伊師浜海岸に渡り鳥であるウミウは羽を休めます（4月〜6月、10月〜12月）。

春には北方へ、秋には南方へ向かいます。真に、ウミウには災難ですが。「うがい」は鵜飼とも、鵜を飼い慣らして鮎などの魚を捕らせる漁法。多くのウミウが使われます。

全国でただここだけが「ウミウ」の捕獲という伝統文化に触れられる場所。ぼくも以前、昼食に立ち寄った時に行ったことがあります。公園の駐車場から海岸沿いに南へ数分、トンネルを抜けるとウミウを捕える目的地。捕獲期間外には、この捕獲場を一般に開放し、見学を受け入れています。現在は3人の捕獲者が居るそうです。

崖に建てられた鳥屋（とや）の中から、休んでいるウミウを捕えます。ウミウを待つ忍耐力、降りてきたタイミング見計らい、専用に作られた棒の先の仕掛けで捕獲します。直接に捕えるシーンは見られません。

国民宿舎「鵜の岬」に泊まるには、まめに電話して空いている日を予約して下さい。

<http://www.unomisaki.com/>